

School Journal

スクール ジャーナル



3月

子どもたちの底力

毎年夏以降、とても貴重な経験をします。それは、子どもたちに対して私が猛省する瞬間です。お恥ずかしい話ですが、子どもたちの方が私よりも勝る瞬間です。それは、子どもたちが目標に対する真剣さ、懸命さなどが、私の鋭意を越えたときです。

中学受験生と高校受験生のほとんどがその境地に至ります。少々大袈裟かもしれませんが、一心に勉強に取り組む様子や、私と対峙するときの目つきや表情に、度肝を抜かれます。正直、一瞬たじろぎます。明らかに、子どもたちの方が熱量が高いのです。

情けないながらも、この熱量に気圧されて私もアクセルを再び全開にすることができるのです。でも何とも心地よい瞬間で、これが教え教わる望ましい関係なのではないかと、いささか尊大ですが、自己満足に浸ったりもします。少しでも、子どもたちの目標や志を引き出せたのであれば、うれしい限りです。しかし、謙虚に考えるとそうではなく、子どもたちが持っているポテンシャルの高さと純粋さゆえだと実感しています。

受験という機会に、自己を見つめ直し、本気になって自分の道を探そうとし、悩み、葛藤しながら納得のいく“何か”を見つけたときの底力たるや、大人の比ではないと認めざるを得ません。そこには打算が一切ないからでしょう。大人の穢れた心では到底達しえない気高い志がそこにはあります。

受験を少々美化してしまいました。反面デメリットもあるでしょう。しかし、この受験は尊い試練でもあり境涯だと思うのです。10代の子どもたちなりの逆境を経験したからこそ、乗り越えたあとの順境が訪れるのだと思います。＜野口＞



まごのせ

新年度・新学期に伴うご連絡



● 31年度 新学期授業開始 → 4/8（月）

6日（土）は仕器入れ替えのため、臨時休校といたします。

新学年の授業は、春期講習終了後、翌週8日（月）より開始いたします。

● 新中1生の通塾曜日・時間の確定について

中学校に進学された方は、今までの生活パターンが一変するため、学校が始まってしばらく（部活動の正式な入部まで）は、一週間のスケジュールが定まらないと思います。

従いまして、最終的に5月連休明け頃に曜日と時間を確定していただければ結構です。それまでは、臨機応変に対応させていただきますので、お気兼ねなくお申し付けください。（仮の曜日と時間を取り敢えずお決めください。）

尚、他学年の生徒も同様に対応いたしますので、どうぞお気軽にお申し出ください。

● 「年間行事予定表」と平成30年度「通知表」を拝見させてください

学校別に年間行事を確認させていただきたいため、学校にて配布される「2019年度 年間行事予定表」をお持ちいただけますようお願いいたします。

また、30年度の「通知表」も拝見したく存じます。何卒よろしくをお願いいたします。指導における参考資料とさせていただきます。

学習状況報告

● 「2月度・3月度 指導／学習状況報告」と、お電話によるご報告

春期講習および補講内容も含めてご報告いたしますので、4月第3週頃のご報告となります。また、書面によるご報告と前後いたしますが、4月中旬頃にお電話にて春期講習（補講）の状況をご報告いたします。

進路相談会・保護者個別面談



- 平成31年度 第1回 <中学受験>進路相談会（新小4～小6 中学受験生保護者）
2/25（月）～3/3（日）

- 平成30年度 第3回 保護者個別面談
3/4（月）～10（日）

- 進路相談会（中学受験生 小4～6、高校受験生 中3）
中学受験生<第2回>（小4～6）：4/15（月）～21（日） ※保護者個別面談
高校受験生<第1回>（中3）：4/20（土）、21（日）、27（土）、28（日）、29（月・祝） ※三者面談



対策授業・特別授業・特別講習・講座等

- 中1準備講座（算数・数学・英語） ☆開講中☆ ※小6生対象
現小6生を対象にした、中学入学準備のための講座です。
まずは、数学でつまづかないために「算数」の強化します。さらに、数学・英語の予習をいたします。
- ^{ラクラク}英検合格講座 <第1回検定（6/2）対策>
4/8（月）開講いたします。
- 公立中／私立中「学年末定期考査 対策授業」（無料）
「定期考査対策授業」を2月下旬（試験初日1週間前）より随時実施いたします。
- 「文章を読む力」をつける講座 ※全学年対象（無学年式）
4月～8月お申し込み分です。
- 「春期講習」 ☆3/26（火）開講☆ ※既にご案内済です。

学力テスト／会場テスト

- 平成31年度 月例学力テスト（有料） <総合学力テスト>
第1回： 標準実施日 4/13（土）、20（土） 小2～小6、中学生全学年
第2回： 標準実施日 5/11（土）、18（土） 小4～小6、中学生全学年
※標準実施日以外の受験も可能です。
当月内（実施月内）の受験であれば、成績処理ができますので受験可能です。
2日間に分割受験も可能です。お気軽にご相談ください。
- 首都圏模試 <中学受験用>
小6：第1回 4/14（日）、第2回 7/7（日）
小5：第1回 7/7（日）

※中3受験生対象の「Vもぎ」は、6月スタートです。
（第1回：6/2）





おめでとうございます

祝合格

平成 31 年度入試 結果 (学校名のみ) 確報

***** 中学校 *****

郁文館中学校
女子美術大学付属中学校
城西大学附属城西中学校
学芸大学付属国際中等教育学校 (内部進学)

***** 高等学校 *****

星美学園高等学校
正智深谷高等学校
堀越高等学校
錦城高等学校 (特進)
青稜高等学校
都立晴海総合高等学校
都立保谷高等学校
都立小山台高等学校



pixta.jp - 20715633

*** 子どもたちに**元気な**  を <No.47> ***

—「褒めるテクニック」—

<脳科学の視点から>

子どもを褒めるのが大事だということは、子育ての観点から今や当たり前のこととして認識されています。しかし、いざ褒めるとなると、親子ではなかなか難しいものです。

では、子どもをどのように褒めればいいのか、脳科学の側面から見てみましょう。（ケンブリッジ大学による研究結果です）

◆褒められる快感と食事の快感は同じ！？

褒められると気持ちよく感じるのは、脳の中の快感物質の“ドーパミン”が分泌されるためですが、繰り返し褒め続けると、この“ドーパミン”の分泌量は次第に低下することがわかっています。原因となる快感物質が出なくなる訳ですから、本人が気持ちよく感じなくなるは当然のことです。

驚くことに、こうした脳内の現象は、食事によって快感を得る場合とよく似ていることがわかりました。空腹のときに食事をとると、ドーパミンが大量に分泌されるので、猛烈な快感が脳内に生じます。ですから、もっと食べたいという衝動が生じ、食事を続けるわけです。ところが、お腹がいっぱいになると、いくらご馳走を食べても、もはやドーパミンは出なくなります。だから、食欲の衝動はなくなり、自然に食事をやめることができるのです。こうした脳内の仕組みは、褒められる時とほとんど同じなのだそうです。

ということは、子どもを上手に褒めようと思ったら、より身近な「食欲」をイメージすると、とても参考になりそうです。子どもが褒められることに“空腹”を感じているときは、ドーパミンが出やすい状況なので、褒めるチャンスです。反対に褒められることに“満腹”を感じているときは、逆効果となる場合もあります。子どもの脳がどちらの状態にあるかは、まず褒めた時の反応（表情やしぐさ）からつかんでください。褒める時は、子どもの反応をしっかり観察した上で、褒められることへの空腹感の程度を、その都度しっかり見極めることがとても大事だということです。

◆子どもをよく観察して具体的な言葉でホメる

「褒められる快感と食事の快感は同じ」ということですが、子どもが褒められることに“空腹”を感じているときは、ドーパミンが出やすい状況なので、褒めるチャンスです。しかし反対に褒められることに“満腹”を感じているときは逆効果だ、ということです。

さらに頻繁に褒めると、子どもの脳は“過食状態”になってしまいがちですが、その際に有効なテクニックも明らかになっています。それは、今後の課題や目標とセットにして褒めてあげることです。たとえば子どもが難問を解いたとしても、ただ手放して褒めるのではなく、「**難しい問題がよく解けたね。あとはスピードだ。10分以内に解けるようになったら完璧だよ**」といった具合に、さらに向上するためのポイントを付け加えるのです。そうすると、子どもの脳は満たされたとは認識せず、その後もドーパミンの分泌を続けようとしています。

また、褒め言葉が一本調子にならないよう心掛ける必要があります。どんなにおいしい料理でも、同じものばかり食べたらウンザリしてきます。それと同じように、褒め言葉も同じ言葉を連発したら、子ど

もの脳はすぐにお腹が一杯になってしまいます。「よくできたね」の繰り返しでは、効果は期待できません。

そうは言っても、そもそも日本語には褒める意味を持つ形容詞や副詞がそれほど多くあるわけではないのです。いくら工夫しても、すぐに使い尽くしてしまいます。

そこでおすすめは、形容詞や副詞（よくできたね、頑張ったね、すばらしい、すごいね など）ではなく、名詞で褒めるというテクニックです。例えば国語の場合、「言葉の使い方が上手だね」「文章がわかりやすくまとまっているね」など、ただ「上手だね」「うまいね」ではなく、その前に具体的な何がという名詞を補えば、褒め方のバリエーションは無限に広がります。

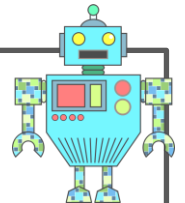


こうした方法は、単なる小手先のテクニックではありません。前提となるのは、子どもとしっかり向き合い、細かいところまでよく見てあげることです。それを褒め言葉に置き換えてあげれば、子どもの脳は確実に元気になっていくはずですよ。

※この連載は、本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし氏の講演内容（録）を転載しました。

♪ 塾長日記 ♪ *** 「今どきの病院？」 ***

学生時代にスポーツで傷めた古傷が急にうずき出したため、大学病院の整形外科にたまらず駆け込みました。紹介状がなかったので、朝一番に行ったにもかかわらず、名前を呼ばれたのが、午後の一時近く。おかげで読みかけの本を読み終えることができました。いやいや、こんな呑気な話ではありません。



ようやく名前を呼ばれて、診察室に入ると「どうされましたか？」と先生。私が症状を話し出すと、キーボードを叩いてパソコン画面のカルテにひたすら何やら打ち込んでいきます。思わず軽やかなキーボードさばきに見とれてしまいました。その間、こちらを見る間もありません。レントゲンなどの検査結果もデータで送られ、先生は終始パソコンの画面とにらめっこです。先生曰く「特に目立った箇所はなさそうですが・・・」そして、痛みのある箇所をちょっと触っただけで程なく診察終了。診察室に入ったときに私を一瞥しただけで、そのあと、先生は私の目を見て話をすることは一瞬たりともありませんでした。

高校時代の友人が神楽坂で鍼灸院を開いています。直接治療する時間は診察時間全体の中でほんのわずかだそうです。患者さんのほとんどがお年寄りで、彼が患者さんの体に触れ、目を見てじっくり話を聞いてあげると、安心して笑顔になり快復もとてもはやいのだそうです。

私が先日診てもらった整形外科の先生は、恐らく AI 搭載のロボットにちがいません。

(野口)





学力の素(もと)

第 23 回

理科・社会を好きにする

理科や社会科が好きになると、思った以上に良いことがたくさんあります。その効果についてお話しいたします。



国語の文章(説明的文章)がよくわかるようになる

3年生の国語の教科書(光村図書)に「里山は、未来の風景」という文章があります。滋賀県大津市の琵琶湖のほとりの里山の風景を紹介した文です。四季を通して様々な動植物や人々の暮らしが、自然との共存の中に描かれています。また、「すがたをかえる大豆」という文章は、大豆がさまざまな工夫によりどんな食品に加工されるのかが説明されています。これらを読み取るには、理科・社会の最低限の知識は必須です。もちろん、この文章を通じて知り得る事柄がほとんどですが、その基礎知識である琵琶湖(日本最大の湖)・植物・昆虫・魚・田んぼ・川・山・大豆(植物の種)などの知識があつてこそ、興味深く読むことができ、理解が深まります。

さらに、学年が上がるにつれて、国語の文章で扱う理科・社会の分野は、当然ながら難しくなってくるので、背景知識の有無や興味・関心の度合いによってその説明文の読み取り度合いは大きく変わります。

地理の知識は社会科の全ての分野で極めて重要



例えば、6年生の社会では、歴史・政治・経済・国際・環境などの勉強をしますが、その中で必ず「江戸時代には長崎の出島だけで・・・」「地球の反対側にあるブラジルとの友好を・・・」「干上がったウルグアイの湖で・・・」など、地理に関する内容が必ず出てきます。

5年生では、農業・水産業・工業・日本の地理的な特徴などの勉強をしますが、その中で「日本海側にある南魚沼市の米作りは・・・」「兵庫県の明石海峡の漁業では・・・」などの内容が出てきます。

3・4年生の社会では、自分が住んでいる市区町村と都・県の生活・産業・歴史・地理的な特徴を勉強します。

このように、日頃から地図に親しんでいると、社会科の全ての勉強に役立ちます。ですから、リビングに地球儀・地図(壁貼り用)、地図帳などを置いて欲しいと思います。

そして、テレビ番組で「ここは合掌造りで有名な岐阜県白川郷の・・・」とナレーションがあったら、すかさず、白川郷の場所を地図帳で調べます。日々の生活の中でも、スーパーで沖縄産のパイナップルを買ったとか、サッカーや野球が好きなら日本や世界のチームの所在地や有名選手の出身地などを調べてみます。

このように、勉強のための勉強ではなく、興味関心を広げるための学習こそが、本来の学習となり、無限に知識欲・求知心が深まっていくわけです。

(野口)



変わりゆく 教育事情

新学習指導要領のねらいとは？ 〈その2〉

2020年度から小学校より順次完全実施される新しい学習指導要領。今年度からは、新学習指導要領に向けた移行措置が始まり、いよいよ教育改革が本格化してきます。

学習指導要領改訂の狙いと移行措置について、第2回目の解説です。

是非ご覧
ください!!



社会の中で、社会と関わりながら生きていく力を重視

非常に重要なのが「社会に開かれた」という視点です。新学習指導要領のなかでは、「社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む『社会に開かれた教育課程』を目指す」とうたわれています。

「社会に開かれた教育課程」が意味することは、学校のなかで教科書を丸暗記して知識を得るような学習ではなく、これからは常に得られた知識を「社会のなかで役立てる」ように学習する、常に「社会との関わり」を考えた学びを目指すということです。

OECD(経済協力開発機構)により実施されてきた「PISA」(Programme for International Student Assessment)と呼ばれる国際的な学習到達度に関する調査があります。「日本の子どもたちの読解力が下がった」など報道でも大きく取り上げられ、前回の学習指導要領改訂に大きな影響を与えたので、ご記憶の方も多いかと思います。

今回の学習指導要領の改訂で子どもたちに育成しようとしている力とPISAが測定しようとしている力は、同じ視点をもったものです。それは得られた知識を使い、自分なりに判断したり、活用して問題解決のために役立てたりする力を重視していることです。

つまり、社会との関わりのなかで学び、学びを社会のなかで活かすという方向性は、世界的な流れだと言えます。

実は、PISAでは「読解力」「数学的リテラシー」「科学的リテラシー」の3分野にわたり調査が行われてきましたが、最新の2015年の調査ではこれらに加え、革新分野として「協同問題解決能力」の調査が行われました。

この名称からもおわかりのとおり、社会との関わりを重視した学びについてPISAでは「協同」をキーワードとしています。日本の次期学習指導要領では、「主体性・多様性・協働性」という言葉で示されています。



多様性を活かす教育を目指して

「主体性・多様性・協働性」というキーワードは、グローバル社会への対応と関連します。

2020年に向けた教育改革のなかで、大きな注目を集めているのが外国語(英語)ですが、英語だけに注目していると本質部分を見落としかねません。「日本にも外国人が増えたから」とか「外

国からの観光客がたくさん来るから」という現象は、グローバル化のほんの一部にすぎません。

グローバル化・グローバル社会に向けた教育という視点で欠かせないのは、「多様な人々と主体的に関わり協働しながら問題解決をしていくこと」です。

多様性というときには、もちろん英語以外の言葉話す国も含まれますし、文化的背景も様々だということです。

さらに、これからの社会のなかで問題解決していくことは国内だけではなくグローバルな視点が欠かせないことは、今日の政治・社会情勢、経済に関する動きを見ると明らかです。ですから、人々の「多様性を活かす」ことが問題解決にもつながるということになります。



幼児から大学入試まで連続性を持った大改革

今回、小学校から高等学校の学習指導要領の改訂と同時に、幼児教育に関する「幼稚園教育要領」の改訂も行われました。

大きな特徴は、幼児から大学入試改革まで一貫した連続性のある考えのもとに改訂が行われたことです。今後、社会で生きていくために必要な力は、付け焼き刃では身につけることができません。

そこで、幼児教育と小学校以上の教育で共通する力を育成することが目指されています。幼児教育は小学校以上の学習指導要領に連続性を持ってつながっていき、積み上げ式で身につけていった力を大学入試でも評価するという流れになっています。

これからの時代、我々には解決できなかった課題や正答のない課題を解決していく必要が出てくるでしょう。

そのような課題に、今の子どもたちが立ち向かっていくための力を身につけさせること、それが大人の指名であり、社会に開かれた教育課程だろうと思うのです。その基礎を培う大切な時期が、幼児からすでに始まるのです。



移行措置期間は2020年に向けた準備を

2018年度から新学習指導要領への移行措置が始まります。今回の移行措置は、内容的にはそれほど大きなものではありません。移行措置期間は次の学習指導要領が目指す方向性とねらいを、まずは大人がしつかり理解するための移行期間ではないでしょうか。



常に社会と関連付けて学習する姿勢を

新学習指導要領では、外国語(英語)やプログラミングなどが新しく追加されますが、主要教科の学習内容にそれほど大きな変更はないように見えます。しかしながら、新しい学習指導要領が目指すところは「質」的な大転換であり、戦後最大の教育改革なのです。

この質的な転換は、教える立場の大人にとって、頭では理解できても、「では具体的にどうしていけばよいの?」と実践するまでがとても大変な過程になるかもしれません。

でも、難しく考えすぎる必要はありません。

社会のなかで、常に社会と関連させて学んでいくことが大切な視点なのです。

社会人としての経験、家事の経験、子育ての経験、それらすべてが社会で生きてきたうえで得られた知識です。ですから、教材で学習している内容を、社会や生活と関連づけるような働きかけやひと言をつけ加えてあげる、そんなことから始めてみてはいかがでしょうか。

<野口>

幼児期の終わりまでに育って欲しい姿10項目	
① 健康な心と体	⑥ 思考力の芽生え
② 自立心	⑦ 自然との関わり・生命尊重
③ 協同性	⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
④ 道徳性・規範意識の芽生え	⑨ 言語による伝え合い
⑤ 社会生活との関わり	⑩ 豊かな感性と表現

■ 学習指導要領改訂のスケジュール

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
幼稚園	新学習指導要領公示	周知徹底	2018年度～ 全面实施						
小学校			移行期間	2020年度～ 全面实施					
					新教科書				
中学校			移行期間	2021年度～ 全面实施					
						新教科書			
高等学校			周知徹底	移行期間			2022年度～ 年次進行で実施		
		新学習指導要領公示					新教科書		



だれでも
分かる

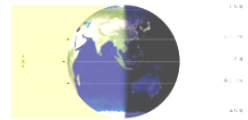
教育情報
&
ニュース

*** 生徒向け ***



春分の日、3月21日と決まっていらないの？

今年の春分の日は3月21日です。「国民の祝日に関する法律」では、春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ」日とされています。春分の日、太陽が真東から出て真西にすぎ、夜と昼の長さがほぼ同じになります。そして、それ以降、だんだん昼の長さが長くなっていきます。



春分の日、毎年3月21日前後で、年によって日付が変わります。地球は太陽のまわりを1年かけて回りますが、これを公転と言います。公転にかかる日数は365日ちょうどではなく、平均すると約365.24219日です。これを分かりやすく時間に直すと365日と6時間弱になります。つまり、地球は太陽のまわりを365日と約6時間かけてちょうど1回転するので、毎年約6時間ずつ遅くなっていきます。そのために日付がずれることがあるのです。しかし、どこまでもずれ続けるのではなく、うるう年は1年の日数が366日あるので、春分の日、約6時間遅れると同時に1日早い日付になります。

都立高入試でスピーキング導入

2022年度

東京都教育委員会は2022年度入学の都立高校入試から、英語を話す能力を測る独自のスピーキングテストを導入することを公表しました。現在の小学6年生から対象になります。

テストは、公立の中学3年生全員が11月下旬～12月中旬の間に1回受け、結果は翌年2月の筆記試験の得点などと合わせて合否判定に使います。会場は大学など外部施設を利用し受験生はヘッドホンとマイクを使い、タブレット端末に解答を録音する方法の予定です。現在の入試では英語の読解と記述、リスニングの3技能を問う試験しか行われておらず、試験の導入によって、「読む・書く・聞く・話す」の4技能すべて問うことになります。民間試験の実施団体と連携して独自の問題を作り、試験と採点はこの民間団体が実施する予定です。



若者11億人難聴の危険

WHO国際基準公表



世界保健機関 (WHO) は、スマートフォンなどの携帯音楽機器で長時間、大音量の音楽を聴き続けると聴覚障害になる恐れがあると、音量制限機能などの搭載を求める国際基準を国際電気通信連合 (ITU) と共同で策定し公表しました。そして、世界の若者 (12～35歳) の半数近くに当たる11億人が難聴になる危険性が高いと警告しました。

WHOは「一度失った聴力は戻らない」として、各国政府やメーカーに国際基準に沿った規制や機器の製造を要請しています。国際基準では、安全利用の目安を大人で音量80デシベル*、子どもで75デシベルを1週間に40時間までとし、機器にどの音量をどのくらい聴いたかを明示する機能を付けるべきだとしています。みなさんも、ぜひ気を付けてください。

*80 デシベル…走行中の電車内くらいのうるささ



花粉症のひみつ



花粉は鼻や目から体に入り、さまざまなアレルギー症状を引き起こすのが花粉症です。その代表的なものがスギ花粉症です。花粉症の人の体の中では何が起きているのでしょうか。

どうして花粉症になるの？

体には、病原菌のように体の敵になるものを攻撃したり、外に追い出したりしようとする「免疫反応」という仕組みがあり、そのために働く免疫細胞が存在します。花粉症は、花粉を敵と見なして免疫反応が活発になりすぎる病気です。花粉症の人の体に花粉が入ると、免疫細胞の仲間が強く反応して「抗体」という体に入る前に花粉に抵抗しようとする科学物質を出します。その結果、鼻水やくしゃみが出るのです。



どうしてスギ花粉症が多いの？

花粉症の約70%がスギ花粉症だと考えられています。これは日本の国土に占めるスギ林の面積が大きいので、全国の森林の18%、国土の12%を占めています。ちなみに北海道はスギ花粉が飛ぶことはとても少なく、沖縄にはスギは全く生息していません。



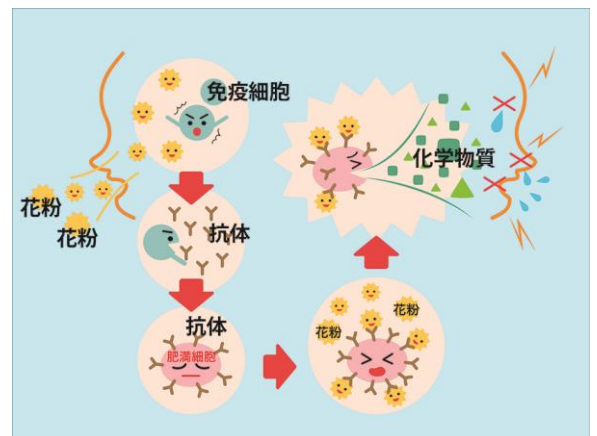
▲スギは、日本特有の木なので、スギ花粉が問題になっているのは、日本だけと言えます。

どうして花粉症になる人とならない人がいるの？

花粉症になる可能性のある人は、花粉に反応しやすい免疫細胞の仲間を持っている人です。また、他のものにアレルギー反応がある人や、家族でアレルギー反応がある人は、そうではない人に比べて、花粉症になりやすいと考えられます。

また、大量の花粉に出会うと、体が花粉に対する抗体をたくさん作る可能性が高くなり、抗体が増えれば何らかのきっかけで花粉症になりやすくなります。

花粉症の人の体に花粉の成分が入ると、免疫細胞はすぐに反応して抗体を作ります。抗体ができた後、また花粉が入ると、鼻や目の粘膜にある肥満細胞の表面の抗体と花粉が結びつきます。すると化学物質が出て花粉を体の外へ出そうとして、くしゃみをしたり、鼻水や涙をたくさん出したりする反応が起こるのです。花粉症でない人の体には、花粉に強く反応する免疫細胞がいないので、鼻水や涙などの反応がすぐに出ません。



▲花粉症が起こるまでの流れ